

サピエンツァローマ大学/ イタリア共和国

Sapienza University of Rome/ Italian Republic

大学紹介

1303年に聖職者養成のための大学として設立された。イタリアでもっとも歴史が古い大学の1つである。サピエンツァは英語のwisdomの意味。学生数147,000人の西ヨーロッパ最大の国立大学であり、毎年1,000人以上の受入・派遣学生がいる

学事日程

春学期: 2月～7月/ 秋学期: 9月～1月

WEBサイト



[Sapienza University of Rome](http://www.sapienza.it)

学べる学問

法学、政治学、経済学・商学、人口・統計・保険数学、文学・哲学、医学、理学、薬学
工学、航空工学、建築学、社会学、心理学
図書館学

留学条件

学部2年以上
イタリア語で受講を希望する者
イタリア語 CEFR B1-B2レベル
英語で受講を希望する者
IELTS: 6.0 以上

留学体験

本学期が開始する半月ほど前から現地の語学学校に通い、その後9月下旬頃から大学の授業が始まりました。文学や演劇、オペラの授業を受講しましたが、全てイタリア語でのみの開講であったため、毎回の授業がとてもハードでした。留学生向けのイタリア語の授業や日伊翻訳の授業も受講し、授業についていこうと必死でした。オペラの台本を読み合わせそれぞれの解釈を話し合うことはとても楽しかったですが、イタリアでの学生生活は、精神的にタフで柔軟でないとやっていけません。突然授業が休みになったり、頻繁に交通ストライキが起こったり、想定できないようなことがたくさん起こります。それらのことで「また予定通りにいかない」「自分の力不足ではないか」と思いつめてしまわないで、「まあいいか」「仕方ないな」「これはこれで楽しいな」とポジティブに受け止めて他の角度から解決策を探ることが、日々の生活の中で身につけていったように思います。

(2016年度交換留学派遣 文教育学部 言語文化学科 英文コース 2年)